

## 青葉区上杉地区民生委員児童委員協議会

(平成 26 年 9 月 19 日掲載)

### (1) はじめに

上杉地区は仙台市のほぼ中心に位置し、震災による建物の倒壊はほとんどなく、津波の被害もありませんでした。都市ガスの復旧にはほぼ 1 か月かかりましたが、他のインフラはそこまではかかりませんでした。当初は青いシートで覆われた個人宅の屋根やビルなどが目立ちましたが、それも時間とともに少なくなりました。家屋の躯体に損傷を受けたお宅では家屋の取り壊し、建て替えなどの工事が未だに済んでいないところも散見されます。

### (2) 震災時

上杉地区は古くから居住している高齢者が多い地区ですが、近年マンションが急増しているエリアでもあります。

- ・以前より民児協独自で作成していた災害時要援護者支援マップをもとに、高齢者世帯・一人暮らし高齢者・障がい者を中心に安否確認、声かけを行ないました。マンションに住んでいる方は、エレベーターが自動的に止まり、大変苦勞をしていました。また訪問を喜んでくださるお年寄りの姿が印象的でした。
- ・上杉地区は仙台駅に近い地域でもあり、住民のみならず、帰宅困難者の対応も余儀なくされました。2 か所の指定避難所のほかに、“上杉コミュニティセンター”においても民児協関係者を中心として対応にあたりました。

### (3) 現在

震災から早や 3 年半を経て、一見平穏な日常を取り戻していますが・・・。

当地区では避難者の詳細な把握は難しいところですが、5 月の民児協活動強化週間では高齢者ほぼ全世帯の訪問を実施し、避難してこられた方のお話しも聞くことができました。みなし仮設住宅での仮住まいの方、永住覚悟の方などさまざまです。社協主催の“ふれあいサロン”も 2～3 か月ごとに行なわれていますが、私たちもともに地域の一員として、寄り添っていきたいと思います。

### (4) 今後

今年度の民児協の研修テーマに“防災関連・孤立死・安否確認などの見守り”を掲げました。今後民生委員としてできることは何か、何をしなければならないか考えていきたいと思います。